

次月活動予定

12月

- 2日 アディクションフォーラム実行委員会
- 4日 再犯防止推進サポート事業県南 再乱用防止教育事業県央
- 6日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 7日 再犯防止推進サポート事業県南家族教室
- 9日 東京保護観察所プログラム
- 10日 宇都宮保護観察所プログラム
- 12日 再犯防止推進サポート事業県央
- 13日 再犯防止推進サポート事業県北
- 14日 再犯防止推進サポート事業県央家族向け 家族教室 再乱用防止教育事業県央
- 16日 栃木県再犯防止等推進連絡会議
- 17日 再乱用防止教育事業県南
- 18日 栃木 DARC・岡本台病院連絡会
- 19日 再乱用防止教育事業県庁
- 20日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 21日 女性への暴力を考える講演会
- 22日 家族会 女性施設餅つき
- 25日 再乱用防止教育事業県南
- 26日 宇都宮保護観察所プログラ 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
再犯防止推進サポート事業県央
- 27日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 再犯防止推進サポート事業県北
- 28日 男性施設餅つき

1月

- 6日 ガイドポスト アディクションフォーラム実行委員会
- 7日 宇都宮保護観察所プログラム
- 8日 再犯防止推進サポート事業県南 再乱用防止教育事業県北
- 9日 家族の集い 再犯防止推進サポート事業県央
- 10日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 再犯防止推進サポート事業県北
- 11日 再犯防止推進サポート事業家族向け 家族教室 再乱用防止教育事業県央
- 16日 再乱用防止教育事業県庁
- 17日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導

編集 特定非営利活動法人栃木DARC

〒321-0923

栃木県宇都宮市下栗町 2292-7

TEL 028-666-8536 FAX 666-8537

URL <http://www.t-darc.com> Eメール:nesm@t-darc.com

発行所

郵便番号一五七―〇〇七二 東京都世田谷区祖師谷三―一―一七―一〇二号
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円

SSKO

栃木 DARC

ニュースレター 第200号(2019.12.6)

Grow up!!

Drug Addiction Rehabilitation Center
DARC

依存症?

特定非営利活動法人 栃木 DARC

代表理事 栗坪千明

クリスマスの飾り付けもちらほら見かけるようになり、師走の到来を告げるようになりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、このところ芸能人による薬物報道がマスコミを騒がせています。最近は報道のあり方も若干変わってきているように思います。以前のように反省を促したり、人格を否定したりする報道も少なくなってきました。わたし的には何の意味もない、回復の妨げにしかならない報道が減っている事を嬉しく思います。

そんな一連の薬物報道を見ていて思うことは、「この人たちは全員依存症なのかな?」ということです。もちろん違法なわけですから乱用ではあると思います。これはもしもの話になりますが、MDMAや大麻が違法でなかったらどう考えるかということです。断っておきますが私は大麻合法化に関してはニュートラルで、肯定でも否定でもありません。あくまで依存症という概念に基づいての見解です。

アルコールには適正飲酒という言葉があります。読んで字のごとく適量を嗜んでいるということです。これはやめられなくなっているという位置付けにはなりません。決まった時間に決まった量を社会生活に影響が出ない程度嗜んでいる。ほぼ毎日晚酌をしているお父さんを想像しますが、つまりそういうことです。また病院で出される薬や市販薬を体調の悪い時に処方通り服用する。というのも依存とはかけ離れた行為です。

では違法になっている薬物ですが、私の立場でこのようなことを言うと問題があるかもしれませんが、マスコミが依存を理解しつつあるこの時期なのであえて言わせていただくと、いわゆるソフトドラッグ(大麻など)が合法であったらどうかと考えると、アルコールと同じように嗜む程度の使用で社会生活には影響をきたしていなければ依存ではないと思います。もちろんソフトドラッグでもアルコールと同じように依存症にならないわけではありません。

なぜこんなことを考えるかと言うと、その後の支援が変わってくるからです。つまり違法ではあるが適正使用であると言うことです。依存症であれば回復支援を受ける必要がありますが、そうでなければその期間の社会活動を無駄にするかもしれないからです。このような分類をしてその人に必要なのはどんな支援なのかを繊細に検討していく必要があると思います。

変わり続けていくということ

アウトリーチ部長 栃原晋太郎

もう12月ですね。令和元年も終わろうとしています。那須では初雪が降り朝晩の冷え込みも厳しくなって来ましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今回は、私の最近の活動と施設を利用しているメンバーの現状などをお話しできたらと思っています。この原稿を書いている12月1日現在で、那須にある1st stage centerの利用者は12名です。私が担当して3年6ヶ月になりますが一番少ない人数かもしれませんね。この間には多くの変化がありました。不良少年上りのメンバーは一段と減りましたし、学歴が高いメンバーが増えました。コミュニケーション能力の面でいうと苦手と自認する人が多いのかもしれませんが。毎年平均年齢も上がっています。現在45歳。そして覚せい剤が主な問題薬物だとして入寮してくるメンバーが減ってきています。現在たったの3名。アルコールが50%になりました。ブロンや風邪クスリ、デパスなどを問題薬物としているメンバーが増えました。スリッパするメンバーが少し増えました。入寮期間を短くしていきたいという思いとはなかなか重なりませんね。この辺りの変化は良いとか悪いとかいう数字ではありません。傾向を理解しながらダルクも変わり続けていく必要があるのでしょうか。

私は相変わらずで、ADHDを自分で疑うほど落ち着きがありません。仕事が大好きで、家族も仲間も大好きです。人から必要とされるっていう気持ち良さというか魔力的な力に今も逆らえません。人に任せるのも相変わらず苦手ですね。疲れちゃっても動き回る感じの結果は何事も中途半端になるとわかっているんですが、あまり変化はありません。ただ、大きな声で独り言を度々言うし、空想世界がいつも自分の中にあるので統合失調症なんだろうと自分では薄っすら思っていました。これだけ多動でこっちが強ければ、統合失調症は違うようだなと半分冗談で半分本気で思っています。ちょっとほっとしています。

今日も鶴岡にいます。こちらに来てから3日目になります。その前は2日間東京にいました。仕事とかライフワークになっている回復支援やメッセージ活動を今回は仲間と共にさせてもらいました。これもまた楽しいんです。自分と共に仲間も必要とされるのはより楽しいです。自分がせっかくシラフになってこの先を生きていくなら、やっぱり自分で意味があると思える活動をしたいですね。楽しいと思えるかどうかは大切なことですしね。

ダルクで利用者として生活した3年間の後は、少しずつ少しずつ広がりを感じています。僕を支えたり許してくれる人が少しずつ増えたんでしょうね。お陰様としか言いようがありません。ただ実は最近、自分を更に変えていかないといけないと思う出来事がありました。自分の感情コントロールや人としての成長は止めれば止まるんですね。当たり前のことですが私は最近気付きました。カウンセリングを受けようと思います。ありがとうございました。

回復

依存症のブッチャン

私がダルクに入寮したのは、2ヶ月前の9月のことです。最初は那須の初期施設での生活についていくのが大変でした。まずは、処方の時間が病院とは違うので覚えるのに苦労しました。病院での生活は毎日、NHKの朝のテレビを見ながら一緒にラジオ体操をしていました。週2回、病院のインストラクターが来て、ストレッチ体操のプログラムに参加しました。プログラムが終わるとインストラクターが用意してくれた紅茶やカフェオレが飲めて嬉しかったです。病院には3ヶ月半位入院していました。そして「季節の会」という催しがあり、これにも参加しゲームをしました。ゲームは参加者を2~3チームに分けて、チーム名を自分たちでつけて競いあいました。ゲームが終わるとインストラクターの人達が、かき氷（昔ながらの）やクリームソーダーを作ってくれました。病院内でこういう物を食べられるとは思っていませんでした。今は楽しい思い出となっています。それと毎日同じフロア内で散歩をしていました。

私が今回病院に入院したのは近くのスーパーに買物に行った時、帰宅の途中で動けなくなってしまい、近所の人に助けてもらい自宅まで負ぶってもらいました。そして、救急車で病院へ運ばれました。近所の助けくれた方には感謝しています。その後、病院で点滴をうけて暫くの間眠ってしまいました。医師によると脱水症状をおこしたと言うことでした。自分ではお酒を飲んだ時にあまり食事をしなかったのが原因ではないかと思っています。

医師には、アルコール依存症と知らされました。毎晩ウィスキーの水割りを3~4飲んでいました。飲むと眠くなる体質でした。たまに昼過ぎにウィスキーの水割りを飲むこともありました。飲む場所はほとんど自宅でした。こういった生活を1年近く続けていて、散歩も次第にしなくなりました。

入寮してからは、毎日、散歩とスクワットをしています。入寮した頃は、歩くのが遅くNAに出かけた時は会場に着くのに皆に遅れて一番後ろで歩くのに苦労しました。散歩のお陰で少し歩くのが早くなりました。足腰が弱く今でも車の乗り降りに苦労しています。

また、入寮してから戸惑うことの連続でした。キッチンや清掃、3度のミーティングになかなか慣れませんでした。まずはミーティングには必ず出席するという目標にしました。清掃の方は仲間わからない事聞き、教えてもらい何とかやってきました。でも、キッチンの方は上手く出来ませんでした。私は今まで料理することがほとんどありませんでした。それで、お皿を並べたりお茶碗やコーヒーの道具を洗ったり、お米を研ぐことをやりました。

お米を研ぐことは家でも1~2合まででした。ここでアルコールの話に戻りますが病院で3ヵ月半、寮で2ヶ月の計5ヶ月半の間、アルコールを口にしなければ規則正しい生活のせいで飲酒したいと言う気持ちが無くなってきた気持ちになっています。

病院の血液検査でもアルコールに関係する数値が正常になってきており、嬉しくなりました。施設でのプログラムは毎日続けて参加しており、日々毎日が学習であると思います。

「継続は力なり」と言う事を信じてこの生活を続けて行きたいと考えています。ミーティングにおいて、気付きを得てが学習し自分を変えることを目標にし頑張っていきたいと思えます。また、回復を目指して実行していきたいと考えています。寮の仲間達には良き指導やアドバイスを頂き感謝しています。ありがとうございます。

未来

依存症のテツ

皆さんお久しぶりです。依存症のテツです。段々と寒くなってきておりますがいかがお過ごしでしょうか。今回、ニュースレターを書かせてもらうのは4回目となりますが、今の自分の心境からお話したいと思います。

私の今の心境は、社会から離れて来月で3年と考えるのが多くなってその事ばかりが気になって、これから社会に出る事への不安が多いです。すぐに社会に出て仕事をしたいという最初の頃の考えはなくなり少し腰を据えて頑張ってみようという気持ちになれたのも、周りの仲間の優しい言葉だったり励ましもあって前向きに今の生活とプログラムに取り組んでみようという考えに変わってきました。周りの同期くらいだった仲間もどんどん社会復帰への道のりを行っているのを見ると少し寂しいような気持ちにもなりますが、それでも回復とか色々と考えてみますと、私の場合はもう少しゆっくりとそれを考えて歩いて行った方がいいのではないかと思えるようにもなりました。今までの私は先を急いだりすぐに諦めてしまったりとかで何に対しても長続きしませんでしたし、人と比べて自分はどうとか決めたりして自分と向き合うことも無かったです。こんな悪い部分が自分をどんどん苦しめていってるんだと気付くことが出来ました。私は一度、考えが固まってしまうと周りの意見を聞き入れることが出来ず、その為失敗を繰り返してきてしまいました。確かに周りに流されたりし続けていると楽に感じたりする時もありますが、自分の意思を持つことの大切さも社会から施設生活を通して分かる事が出来ました。最初は、自由が無い事への辛さだったり不満だったり感情の面で沢山ありましたが、今ではクスリをやめ続けられているという安心感とクスリを使わなくなってクリーンが2年以上経ってきているのが私の自信に繋がっています。

前のニュースレターでも書いたと思いますが私は今まで何をやってもダメだとか思い込んでしまっただけから抜け出せないとかその為か自己肯定感が低く物事に対しいつも投げやりでしたが、そういう方向に思っただけだと上手く出来ても決して気持ちの面でも気持ちよくないんじゃないかな？と思えるようにもなりましたし周りの仲間にまで、暗い空気にさせてしまうからその自分の色を変えた方が良く気付くことが出来ました。こういう事に気付いて直そうとするまでに大分年月がかかりました。今までの事を思うよりもこれからの事に目を向けていこうと後ろ向きの性格から次第に前向きに変わってこれたことに嬉しく思っています。生活をしていて、分からない事は周りに聞く事が昔は出来なかったし、それがなんだか恥ずかしい事にも思えて溜め込んでしまったりもしていたんですが、そういう癖を変えようと思って過ごす事で気持ちの面でも楽な生き方が出来るように変わってきました。現在、野木の施設で生活していますが、未だに分からない事が幾つも有ったりもします。でも、その度にそのままにしておかず、周りの仲間に聞いたりして溜めないようにしています。

私は、今まで一生懸命ということができず、本当に飽き性でしたが腰を据えるという大切さと根気強さも少しは備わってきたように感じています。私は今、40歳ですが、歳をとってもまだまだ、これからという前向きな生き方をしていきたいと思っています。最後まで私の話を読んでくださった皆様、有難うございます。これから寒さも厳しくなってきますが呉々も御躰には気を付けてお過ごしください。それでは失礼します。

回復

依存症のオギ

皆さんこんにちは。俺は今4人の子供達と別ればなれになってここ栃木で生活しています。この施設で8ヶ所目です。一番最初につながったのは、東京ダルクです。そこで2週間通所でした。俺は元々大型トレーラーの運転手です。北は青森、西は鹿児島まで寝ずに走ったものです。今からだいたい33年前のことです。その頃から覚せい剤を使って事故は一度もありませんでした。やっぱり薬は魔物です。最初使った頃から注射器です。そのころは、使い捨ての注射器などなかったです。ガラスで1ccのTopでした。俺は元々シンナー吸ってました。そしたら、すぐ上の兄から「シンナーよりもいいものがあるぞ」と言われて、初めて覚せい剤を使いました。その時の量一目盛の半分で、こんなに気持ちいいのがあるんだと思いました。そこからが初めの一步でした。最初は3時間に一発づつ入れてました。だけど、翌年からすぐ上の兄の女が次々と薬をもって来るから本当に中毒になってしまいました。金の方はというと、どうゆうわけかタダでした。いろいろ調べたら、群馬の組の人からもらうようになって、組の出入りもするようになり、それなら組みに入っちゃえと思い組にはいりました。その時が20歳の時でした。それから薬で、平成5年、平成7年、平成14年に捕まりました。俺は平成14年時以外、全部売人の名前を言いました。楽な留置所生活を送りました。今思うと本当に金をどのくらい使ったかわかりません。

今栃木ダルクで生活をしてはいますけど、最初は大変でした。こんな山奥で生活するなんて俺にできるのかなと思いました。平成26年に入院して5年が経ちまして今は宇都宮の施設で生活しています。それから今は、作業所のA型というところに通っています。ここ下栗から、自転車で毎日40分かけて会社に通ってます。雨が降ったり、風が吹いたりすると大変です。結構宇都宮も上り坂があります。作業はお茶の箱詰めです。早くアパートを借りられるように願ってます。覚醒剤は平成14年以来やってません。だけど時々欲求が入ります。いつまでも子供達とあえないなんて我慢できません。俺の子供たちと最後に長男に会ったのが平成9年の時でした。俺は自分の子供達が大好きです。それから俺は父親、母親がいません。今の施設で卒業できるのならしたいです。俺の女房は、俺と別れてからどこに住んでるかわかりません。別に探そうと思いません。最初は子供たちと一緒に仙台へ行ったとき聞かされて、残念だなと思いました。そしたら、子供たちは、こんな父親だけど、俺と住みたい気持ちがあって、今は子供たちだけで住んでいるみたいです。とにかく今はまだ会えないけど、いつかきっと一緒に生活することを夢見てます。栃木ダルク4施設あるけど、一回りしてしまいました。ここ宇都宮では、作業所へ通って毎日作業をしています。俺は今回復してるような気がします。いろいろプログラムを受けて、いろいろ勉強になっています。とにかく仕事をしてお金をためて自立したいです。それにはいろいろ勉強して、外の事とかを勉強していきたいです。



1976年2月25日第三種郵便物認可（毎週4回月曜・火曜・木曜・金曜発行）
2019年12月6日発行 SSKO 通巻第1036号 無断転載禁止

1976年2月25日第三種郵便物認可（毎週4回月曜・火曜・木曜・金曜発行）
2019年12月6日発行 SSKO 通巻第1036号 無断転載禁止

なれのはて。

依存症のマナ

初めまして。依存症のマナです。23歳です。根暗です。

昨年10月にダルクに入寮しましたが、耐えられなくてたった13日で脱走、そのまま退寮しました。また実家暮らしの生活に戻りましたが、このままでは何も変わらないなと思い始めて結局、今年2月に再入寮しました。11月22日で9ヶ月目になります。

私のアディクションは、自傷行為、スマホ依存、過食、過食嘔吐、市販薬依存（ブロン、エスタック、などの風邪薬、レスタミン、下剤など）です。自傷行為は中2の時に、同級生の女の子がしていたので、興味本位で始めたのがきっかけです。社会人になってもやめられず腕は酷い状態になってしまいました。過食嘔吐はSNSで、精神疾患を持っている子の投稿を見るのが好きだったので、そこで摂食障害の現状を知り、またもや興味が湧いてきて始めたのがきっかけです。市販薬もSNSで、私は食生活が狂い始めて、食べない時は一切何も食べない、食べる時は異常な量を食べてしまう、といった感じでどうしようもない状態でした。SNSでブロンかエスタックを飲めば食欲が抑えられるし痩せるよと教えてもらい、私はとにかく過食をやめたかったので、それさえ治れば市販薬様様くらいに思っていました。痩せていく自分に自信が持てましたが、精神はどんどんおかしくなり4ヶ月程で幻聴妄想が現れ、高卒で18から4年間勤めていた職場も辞める結末となりました。人生終わったな〜とその時は思っていました。それ以上に母と姉の方が私のせいで苦しい思いをしてきたと思います。ダルクの生活を通して、やって良い事と悪い事の区別をつけて、より良い方向に進めたいなと思っています。

私にとってダルクの生活は学べる事が4割、嫌な事が4割、嬉しい事と楽しい事が2割です。人見知りや人と話す事が苦手な私は人間関係で嫌だなと思う事がたくさんあります。新しい仲間が入ってくることがとても苦手で、新しい仲間が入寮する度に具合が悪くなってプログラムを休んだりした時もありました。私の、他人と自分の粗さがしをしてしまうクセが原因だと思います。細かい事を気にせずに、もっと広い心で物事を受け入れられたらなと思います。とても気難しい性格の私ですが、そんな私のことを受け入れて理解してくれている仲間もいて、嬉しいなど日々感じています。中学生の頃から交友関係が希薄になっていき高校を卒業する頃には友達が1人もいなくなっていたので、今、私には同じ依存症からの回復を目指す仲間がたくさんいることに感謝しています。女同士、年齢差、経験してきた事の違い、色々私を悩ませ考えさせられる場面もありますが、その中で学べる事や感じる事は今後、社会復帰してから良い材料になると思うので、焦らずゆっくりと仲間達との生活を充実させていきたいです。

ダルクの生活で最も少ないと感じる楽しい事ですが、少ないからこそ楽しさを味わえた時の喜びは大きいです。私は休日に仲間とお買い物に行くのが好きです。生活費をコツコツ貯めて、欲しかったものを買えた時、とてもお金のありがたみを感じます。今まで過食や市販薬、洋服や化粧品に遣っていたので、無駄遣いはできないなと心底思えるようになりました。スマホが使えないので、音楽を聴く時はCDプレーヤーを使っています。音楽を聴くことが大好きなので、寝る前に大好きなアイドルのBiSHや大森靖子さんや邦ロックを聴くのが日課になっています。その他には仲間達とレクに行ったり、オープンスピーカーやフォーラム、コンベンションではポスター作りを担当して楽しかったです。支離滅裂な文章でしたが、最後まで読んで頂き有り難うございました。またね。

11月にステップアップした仲間

1st	ET ヒデ メンバー〜サポートへ
2nd	・ショウ Stage2へ
3rd	・該当者なし
CF	・ラチャン メンバー〜サポートへ ・ヤナチャン Stage3へ ・ヨッサン ヒラチャン Stage2へ
PP	・該当者なし

11月の献金・献品

(献金) 匿名者3名様

(献品) 4冊(匿名者)

お知らせと一言

・早いもので師走に入り今年もあと残りわずかとなりました。今年も年号が変わり最初の一年でしたが皆様にとってはどんな一年だったでしょうか。令和2年も引き続き栃木ダルクをよろしくお願ひします。良い年をお迎へください。

・その他自立して

・布団、中古でも構いませんのでよろしくお願ひします。

体験談

依存症のノブ

2回目のニュースレターとなる依存症のノブです。文章を書くのが得意ではないので乗り気ではなかったのですが、こういう機会もなかなかないので少し下手なりに書かせていただきます。とはいえ何を書けばいいのか分からないので、自分が体験した退寮の話を書かせてもらいます。

自分は入寮してから1年と4カ月経ちますが、その間に3度途中退寮しています。どれも失敗するという、なかなかのアホだと自分でも思っています。まず1回目ですが、入寮して1カ月半位の時だったと思います。当時のチーフに何度もここから出してくれと言い続け、施設長からは「絶対すぐに戻るハメになるよ」と言われながらも自分では普通に社会に適応できると思っており、自信満々で施設を出ました。今思えばこの時すでに、お酒を飲む事しか頭になかったような気がします。

駅まで仲間を送ってもらい、その仲間がいなくなったのを見届けてすぐ、お酒を買いに行きました。電車を待つ間に500mlを2本は飲みましたね。勢いづいた自分はもう止められず、宇都宮に着いたらビジネスホテルを予約し、そのまま飲み屋街に向かいました。記憶があるのはキャバクラをハシゴし、その辺を徘徊したところまで。気が付いたらビジネスホテルのベッドの上でした。

そのまま飲み続け2日目には土地勘も無かったのですが、どうやら酔うと自分の居場所が分からなくなる病気を発症？し(笑)、結局施設長に助けてもらいダルク生活に戻りました。しかし自分では、お酒を飲まなければ何とかなったんじゃないかと心に秘めており、去年末の途中退寮につながります。

2度目の退寮時には役割もサポートに上がっており、もう少しでスタッフだという所でしたが自分的にはあまり興味がないので、施設を出してくれないチーフにアピールする為に、セブンイレブンで軽く脱走しました。その甲斐あって2度目の途中退寮が叶いました。

この時は仲間が宇都宮まで送ってくれたのですが、これが厄介でした。車でネットカフェに送ってもらうはずがなかなか着かない！何度も「考え変わったか？やっぱり戻らないか？」そして何故かひたすらラーメン屋を探してなかなかネットカフェに着かない！！あたりが真っ暗になった頃ようやくネットカフェの前に置いていかれました。

結局その日は何もできないので、ネットカフェでお酒を飲みながら寝ました。次の日、近場にあった派遣会社におしかけ仕事の相談をしましたが、年末という事もあって住む場所の提供と仕事は絶望的でした。この時点で自分の脳は「就職して住居を探す」から「いかに金を使わないで遊ぶか」にシフトされていき

ました。またしても飲み歩き、フラフラになった時に再び「どこにいるか分からなくなる病」が発症しました。そしてコンビニで道をたずねている時に、ちょっとした出会いがありました。半分絡まれた感じでしたが、自称土木会社社長と意気投合してしまったのです。しかも明日からうちで働けと言ってくれたのです。若干怪しい感じがしましたが、自分にとってはもう頼むしかなかったのをお願いしました。そして飲みにつれて行かれ、気が付いたらネットカフェの駐車場で寝ていました。1万円とネックレスが消えていました。

結局その後、なんやかんやで施設に戻らせてもらいました。それから日々が過ぎ施設移動をし、つい2か月程前にまた退寮しました。しかしいつもと違い、仕事も住むアパートもすぐに決まり、あとは自分との勝負でした。3~4日位はすごく順調で、仕事仲間もでき、お酒もコントロールしてこのまま上手く行くものだと思っていました。

しかし今度は処方で躓きました。処方が切れ、保険証も作れずお金も無い。離脱症状で手が震え、仕事ができなくなり、精神的におかしくなりました。これで今回も、施設長に助けてもらいました。

結局自分は普通に生活する事もままならない、という事を少しは理解したつもりでいます。さすがにこれから退寮する意思は出てこないと思うので、少し落ち着いた生活をしていきたいと思います。長々とありがとうございました。

施設報告

1sc (導入) 13名 2sc (回復) 13名 3sc (後期・社会復帰) 16名 CF (農業) 12名 pp ピースフルプレイス (女性) 14名計68名で活動しております。
各々の施設でステージ事のプログラムを実施しております。